

学 個 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート 「子どもは、授業が楽しく分かりますと言っている」 の肯定的評価	4:80%以上	【保護者アンケート 肯定的評価 88.3%】 ・年3回の全員公開授業と年間6回の校内研究授業、年12回以上の校内OJT研修の実践をとおして、授業力向上を図ることができた。 ・教員自らが授業公開するWelcome授業の実践により、それぞれの専門性を生かした指導方法を、他の教員に周知することができた。 ・行事の精選や日課表の改善により、児童に向き合う時間を確保し、働きやすい職場環境にする取組を行った。	A	9	・教員の方々は研鑽に努めていて、子どもたちが楽しく学べるように、日々工夫されていると思います。 ・学校力、教師力の向上にむけて、先生方それぞれが取り組まれている。とのことでとても素晴らしいと思います。 ・児童への対応で、伸長を促す方を高く評価したい。 ・働き方改革で、教師一人に対する児童の数の改善が必要だと思います。 ・展覧会では、伸び伸びと楽しく作品にと陸得ている様子が見え、とても感動しました。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上		B	1	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:60%以上		C	0	
						1:60%未満		D	0	
た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をいき 援いき ますと 生きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート 「学校は、こどものことについて相談に適切に応じてくれている」 の肯定的評価	4:80%以上	【保護者アンケート 肯定的評価 95.3%】 ・特別支援教育コーディネーターの企画・運営による校内委員会を月に1回確実に実施し、そこで出た情報や立てた方策について教員に周知することで、連携を深めることができた。 ・特別支援教室巡回指導教員が企画・運営した校内研修会やOJT研修によって、教員の資質・能力の向上を図ることができた。 ・学校いじめ防止基本方針について、生活指導主任から教員へ周知したり、毎月のいじめ不登校対策委員会の情報共有を行ったりすることで、確実な組織対応を行えた。 ・週に2日のSC勤務日には、担任や管理職と連携しながら児童の情報共有を行ったり、今後の対応を検討したりすることができた。このことをおとして、綿密な相談体制を取ることができた。	A	9	・保護者より、先生方の努力が高く評価されていますね。95.3%とは、立派な数値です。 ・昨今におけるいじめ・不登校に真摯に向かう姿勢が感じられます。 ・全ての児童が「学校は楽しい！」と思えるように、排除しない教育を実践していると思います。 ・困難のある児童一人一人の状況に寄り添った支援や、個々への教育環境を整えるための基盤がしっかりできていることが分かり、安心しました。 ・きめ細やかに対応されていると思います。 ・6年生の児童から、他のクラスでいじめがあったが、担任の先生が対処して解決したと聞いた。教職員で情報の共有があり、組織で対応できていると窺えた。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上		B	1	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:60%以上		C	0	
						1:60%未満		D	0	
安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環 境 な を 学 び ま す と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート 「校内での学習環境が整っている」 の肯定的評価	4:80%以上	【保護者アンケート 肯定的評価 94.1%】 ・ICT環境はもとより、図書室の整備にも力を注いだ。スクールサポートおなづかのメンバーが毎月1回、季節に応じた掲示物で、児童の読書意欲を向上させたことで、読書冊数を増加させることができた。 ・夏のわくわくスクールや、町たんけん、席書会などの行事や、家庭科や図画工作科の補助などに地域の方々が入り、安心安全な学習環境にすることができた。 ・避難訓練や安全指導等、教育計画に則って確実に行うことで、安全教育を推進した。	A	9	・スクールサポートおなづかのメンバーは、児童に興味をもってもらえるように(喜んでもらえるように)、季節に応じた掲示物を作成している。児童が、図書室や閲覧室を訪れる回数が増えることにつながれば、とても嬉しいことである。 ・子どもたちが安全な環境の中で安心して学べるように、学校は細心の注意を払っていると思います。 ・安心して学校生活を送れるよう、環境整備にも力を入れていて、また、それが実践されていることに、民生児童委員の一人として、嬉しく思います。 ・地域清掃やサマースクール、登下校の見守りなど、学校と地域が協力し実施されている。これからも続けていけたらと思います。 ・地域の者として、できる限りのことはしたいと思います。 ・家庭科の実習に地域の人が補助に入っているが、保護者にも補助の依頼をしてもよいのではないかと考えます。保護者が学校へ協力的になると思う。 ・町たんけんに同行したが、その後の様子を知りたかった。 ・防火、防災の重要性に取り組む姿勢は、地域自治会・町会にとっても協働できることと評価し
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上		B	1	
						2:60%以上		C	0	
						1:60%未満		D	0	
学地学個 校域校別 をコ・目 つミ家標 ユ庭7 リニ・ まテ地 すイ域 の核連 と携し・ て協働 の協に よる	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート 「学校は、学校行事等に地域の協力を得ている」 の肯定的評価	4:80%以上	【保護者アンケート 肯定的評価 92.3%】 ・地域の方々にご協力いただく地域清掃やミニ運動会、PTAが主催する夏祭りなど、児童の健全育成のための取組が実施されている。教員にも参加を呼び掛けたことで、学校・家庭・地域が連携した活動にすることができた。 ・登下校時の見守り活動を地域の方々と共に行い、児童の安全・安心な環境づくりのために協働することができた。 ・家庭教育に関しての発信を年に3回「家庭学習週間」という形でを行い、学校と家庭とで連携しながら実施した。また、教育活動の様子を学校だよりやホームページを通じて発信し、84.8%の保護者から肯定的評価を得ることができた。	A	9	・学校は、家庭や地域と良好な協働関係を築くよう、努力していると思います。 ・地域との関わりは、児童・学校・地域に良い影響を与えらと思う。 ・地域自治会や町会は、連携・協働を今後も進めていきたい。 ・地域力の高まりが学校教育にも活かされていて、とても嬉しいことです。これからも子どもたちのために、少しでもお役に立てたらと思います。 ・地域清掃、登下校時の見守り活動、防犯パトロール、お祭り等を通じて、児童の顔を覚え挨拶ができるようになることは、児童の学外での安全を守ることにつながると思う。 ・見守り行動の重要性・意味を知ってほしい。お手伝いはできるが、予定を早めに知らせてほしい。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上		B	1	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:60%以上		C	0	
						1:60%未満		D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す